

令和元年度9月補正予算の概要

令和元年度当初予算を骨格予算として編成したことに伴い、政策的経費としてシビックプライドの向上に関する経費、タウンミーティング「まちかど市長室」の実施に関する経費、SDGsの推進に関する経費、相模総合補給廠共同使用区域のうち、スポーツ・レクリエーションゾーンの整備に関する経費等について補正予算を計上するもの

一般会計 総額 1,199,000千円

(以下単位は全て千円)

補正前	補正額	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
302,426,000	1,199,000	303,625,000	958,140	240,860

* 歳入予算

		主 な 内 容		
		情報通信技術利活用事業費補助金	764	
		実費徴収補足給付事業補助金	5,670	
		子ども・子育て支援事業費補助金	75,353	
		道路改良事業補助金	79,908	
1	国庫支出金	398,419	緑地保全事業補助金	47,750
			スポーツ・レクリエーションゾーン整備事業補助金	184,290
			消防団設備整備費補助金	1,444
			スクールバス購入費補助金	3,240
2	県支出金	72,781	定期借地権設定一時金支援事業補助金	63,361
			介護分野未経験者参入促進事業費補助金	3,750
			実費徴収補足給付事業補助金	5,670
3	繰越金	240,860	前年度剰余金	240,860
4	諸収入	30,940	公立保育所給食費負担金	30,940
5	市債	456,000	公共事業等債	179,500
			地方道路等整備事業債	106,400
			一般事業債	136,700
			一般補助施設整備等事業債	33,400

* 歳出予算の主なもの

		主 な 内 容	
1	シビックプライド向上事業 (シティセールス・親善交流課)	11,140	市民の市への誇りや愛着を醸成し、さがみはらファンを増やすことを目的として、条例制定を見据えた検討や、さがみはらファンサイトを創設するほか、愛着醸成シンポジウムを開催するもの
2	SDGs推進事業 (企画政策課)	5,266	「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて職員の理解を深めるとともに、市民、企業、団体等と連携した取組を進めるための普及啓発等を行うもの
3	人権啓発経費 (人権・男女共同参画課)	317	「人権に関する条例」の制定に向けた検討を行うもの
4	行政事務情報化経費 (情報政策課)	4,674	AIを利用した対話型案内サービスや各種行政サービスの提供等を行うもの
5	避難場所等整備事業 (危機管理課)	16,522	避難場所に関する情報を子どもや外国人市民にもわかりやすいように表現するため、ピクトグラムを表示した避難所看板を整備するもの

6	市民の声等経費 (広聴広報課)	192	市民ニーズや地域課題の変化を的確に捉え、市政に反映していくため、市民と市長が直接意見交換を行う『タウンミーティング「まちかど市長室」』を開催するもの
7	障害者就労支援事業 (障害政策課)	1,770	障害者雇用を推進するため、障害者及び障害者の就労支援を行う事業所の双方における課題など、障害者就労支援の実態を把握するための調査を行うもの
8	介護人材確保定着育成事業 (高齢政策課)	5,000	介護人材の確保を図るため、介護未経験者を対象に、入門的研修の実施から就労支援までを一体的に行うもの
9	児童福祉事務運営費 (こども・若者政策課)	2,530	子育て世代が外出時等を感じる負担感を軽減するため、市のHPにおいてオムツ交換のできるトイレや授乳室などを検索でき、地図上に表示できる機能を設けるもの
10	児童相談所運営費 (児童相談所)	9,327	児童相談所緑支援班を緑区合同庁舎に移設することから、諸室の改修及び備品の購入等を行うもの
11	一時保護所運営費 (児童相談所)	2,376	被虐待児等を一時的に保護する施設の定員を令和2年度から民間委託により増員するために、民間事業所の諸室の改修等に対して補助するもの
12	(仮称)新斎場整備事業 (繰越明許費設定) (区政支援課)	15,000	(仮称)新斎場の最終候補地決定に伴い、最終候補地「青山」の地形等を考慮した火葬場区域の設定や土地利用計画など、基本計画(素案)の作成等を行うもの
13	有害鳥獣駆除等対策事業 (津久井地域経済課)	4,619	ニホンザルによる農作物被害等に対応するため、津久井地域鳥獣等被害対策協議会が実施するICTを活用した大型捕獲檻2基の整備について補助するもの
14	観光宣伝事業 (繰越明許費設定) (商業観光課)	4,950	国内外から更なる観光客の誘致に向け、本市の観光資源を効果的に紹介するプロモーション動画を作成し、広く発信するもの
15	道路改良事業(箇所指定) (繰越明許費設定) (道路整備課)	263,600	県道76号(山北藤野)の道路改良工事を行うもの
16	相模原駅周辺まちづくり推進事業 (相模原駅周辺まちづくり課)	5,005	相模総合補給廠一部返還地のまちづくりコンセプト案の策定に当たり、アンケート調査など市民意見の把握や庁内検討会議を行うもの
17	駅周辺施設維持管理費 (都市整備課)	4,041	伊勢丹相模原店の閉店に伴い、当面の間、相模大野立体駐車場内を迂回路として活用するために必要な措置を行うもの
18	スポーツ・レクリエーションゾーン整備事業 (繰越明許費設定) (公園課)	524,656	相模総合補給廠共同使用区域におけるスポーツ・レクリエーションゾーン(10ha)の整備を行うもの
19	津久井消防署整備事業 (繰越明許費設定) (消防総務課)	29,755	消防署の機能強化・維持を図るため、老朽化した津久井消防署の移転整備に向けた基本設計を行うもの

20 義務教育学校設立に係る経費
（学務課・学校施設課・教育センター）

41,920

青野原小・中学校及び青根小・中学校を再編し、令和2年度から青野原小・中学校において義務教育学校を開校するための環境整備等を行うもの

21 海外帰国及び外国人児童生徒教育
推進事業
（学校教育課）

972

学校生活において、外国人の保護者等への連絡や児童生徒への指導の支援ツールとして小型翻訳機を配置するもの

* 債務負担行為の設定

【追加】

指定管理経費

限度額 19,428,532千円（総額）

期 間 令和元年度から令和2年度まで
1件

令和元年度から令和3年度まで
6件

令和元年度から令和4年度まで
2件

令和元年度から令和5年度まで
25件

令和元年10月より消費税率が10%に引き上げられることに伴い、債務負担行為の限度額を再設定するもの

自動車駐車場事業特別会計

総額 3,050千円

* 歳入予算

繰越金

3,050

主 な 内 容

前年度剰余金

3,050

* 歳出予算

指定管理経費（債務負担行為）

3,050

主 な 内 容

令和元年10月より消費税率が10%に引き上げられることに伴い、現在消費税率8%で指定管理者に支払っている指定管理料を増額するもの

【歳出予算】

1 シビックプライド向上事業（11,140千円） 担当 シティセールス・親善交流課

市民の市への誇りや愛着を醸成し、さがみはらファンを増やすことを目的として、条例制定を見据えた検討や、さがみはらファンサイトを創設するほか、愛着醸成シンポジウムを開催するもの

- | | |
|-------------------|---------|
| （1）条例制定に向けた取組 | 335千円 |
| （2）さがみはらファンサイトの創設 | 8,126千円 |
| （3）愛着醸成シンポジウムの開催 | 2,679千円 |

2 S D G s 推進事業（5,266千円） 担当 企画政策課

「持続可能な開発目標（S D G s）」の達成に向けて職員の理解を深めるとともに、市民、企業、団体等と連携した取組を進めるための普及啓発等を行うもの

- | | |
|--------------------------------|---------|
| （1）職員向け研修経費 | 316千円 |
| （2）缶バッジ、啓発用パネル等作成経費 | 2,273千円 |
| （3）特設サイト構築、エフエムさがみS D G s 番組放送 | 2,677千円 |

3 人権啓発経費（317千円） 担当 人権・男女共同参画課

「人権に関する条例」の制定に向けた検討を行うもの

- | | |
|-----------------|-------|
| （1）人権施策審議会委員報酬等 | 227千円 |
| （2）アドバイザー謝礼 | 90千円 |

4 行政事務情報化経費（4,674千円） 担当 情報政策課

A I を利用した対話型案内サービスや各種行政サービスの提供等を行うもの

- | | |
|--|---------|
| （1）L I N E 相模原市公式アカウントをプラットフォームとし、A I を利用した対話型案内サービスや各種行政サービスの提供 | |
| サービス使用料 | 2,381千円 |
| （2）サーバ型R P A ツールの導入検討 | |
| ライセンス料 | 1,555千円 |
| 研修委託料 | 738千円 |
| 特定財源 情報通信技術利活用事業費補助金 | 764千円 |

5 避難場所等整備事業（16,522千円） 担当 危機管理課

避難所に関する情報を子どもや外国人市民にもわかりやすいように表現するため、ピクトグラムを表示した避難所看板を整備するもの

箇所数 210 枚（105 避難所）

6 市民の声等経費（192 千円）

担当 広聴広報課

市民に市政を身近に感じてもらうとともに、市民ニーズや地域課題の変化を的確に捉え、市政に反映していくため、市民と市長が直接意見交換を行う場として、対話型の集会による広聴事業『タウンミーティング「まちかど市長室」』を開催するもの

- (1) 開催頻度 月 1 回程度（1 時間 30 分/回）
- (2) 対象者 市内在住・在勤・在学者（公募により決定）

7 障害者就労支援事業（1,770 千円）

担当 障害政策課

障害者雇用を推進するため、障害者及び障害者の就労支援を行う事業所の双方における課題など、障害者就労支援の実態を把握するための調査を行うもの

委託料 1,770 千円

8 介護人材確保定着育成事業（5,000 千円）

担当 高齢政策課

介護人材の確保を図るため、介護未経験者を対象に、入門的研修の実施から就労支援までを一体的に行うもの

- (1) 研修時間 21 時間（4 日間程度）
- (2) 委託料 5,000 千円
 - 特定財源 神奈川県地域医療介護総合確保基金（介護分）事業費補助金 3,750 千円

9 児童福祉事務運営費（2,530 千円）

担当 こども・若者政策課

子育て世代が外出時等を感じる負担感を軽減するため、市のHPにおいてオムツ交換のできるトイレや授乳室などを検索でき、地図上に表示できる機能を設けるもの

委託料 2,530 千円

10 児童相談所運営費（9,327 千円）

担当 児童相談所

児童相談所緑支援班を緑区合同庁舎に移設することから諸室の改修及び備品の購入等を行うもの

- (1) 緑区合同庁舎配置予定職員数 12 名
 - （最大 16 名まで配置可能なスペース約 56 m²を確保）
- (2) 設置場所 緑区合同庁舎 3 階

1.1 一時保護所運営費(2,376千円)

担当 児童相談所

児童虐待の増加等に伴い、被虐待児童等を一時的に保護する施設の定員を令和2年度から民間委託により増員するために、民間事業所の諸室の改修等に対して補助するもの

- (1) 補助対象経費 居室、浴室、食堂等の改修費など
- (2) 民間委託による預かり児童数 4~6名

1.2 (仮称)新斎場整備事業(15,000千円)

担当 区政支援課

(仮称)新斎場の最終候補地決定に伴い、最終候補地「青山」の地形等を考慮した火葬場区域の設定や土地利用計画など、基本計画(素案)の作成等を行うもの

基本計画検討内容

- (1) 現況測量
- (2) 進入路の概算設計
- (3) 土砂災害対策検討
- (4) 土地利用計画検討

1.3 有害鳥獣駆除等対策事業(4,619千円)

担当 津久井地域経済課

ニホンザルによる農作物被害等に対応するため、津久井地域鳥獣等被害対策協議会が実施するICTを活用した大型捕獲檻2基の整備について補助するもの

補助金 4,619千円(相模原市有害鳥獣駆除対策事業補助金)

1.4 観光宣伝事業(4,950千円)

担当 商業観光課

国内外から更なる観光客の誘致に向け、本市の観光資源を効果的に紹介するプロモーション動画を作成し、広く発信するもの

委託料 4,950千円

1 5 道路改良事業（箇所指定）(263,600 千円)

担当 道路整備課

県道 76 号（山北藤野）は緊急輸送道路に指定されているとともに、藤野小学校の通学路となっているが、歩道が未整備であり、車道の幅員が狭く、車両のすれ違いや大型車の通行が困難な状況であるため、歩道整備及び車道の拡幅を行い、通学児童の安全と車両の円滑な交通を確保するもの

- (1) 事業名 県道 76 号（山北藤野）道路改良事業（日連）
- (2) 事業箇所 相模原市緑区日連 地内
- (3) 事業延長 L=120m W=12m
- (4) 事業期間 平成 23 年度～令和 3 年度（補正後）

今回、内示のあった社会資本整備総合交付金については、幹線快速バス導入促進事業への充当を想定していたが、当該事業について、より効果的に事業を推進する方策を検討することとしたことから、優先度の高い上記事業に充当することとした

1 6 相模原駅周辺まちづくり推進事業（5,005 千円）

担当 相模原駅周辺まちづくり課

相模総合補給廠一部返還地のまちづくりコンセプト案の策定にあたり、アンケート調査など市民意見の把握や庁内検討会議を行うもの

- (1) 駅周辺の特性・ポテンシャルの整理
- (2) 現状の整理や社会状況の変化、将来に向けた戦略などを検討の視点として整理
- (3) 市民アンケート調査や現場ヒアリングなどから市民意見を把握し、若手職員の意見等も参考にしながら、一部返還地のまちづくりのコンセプト案を策定

1 7 駅周辺施設維持管理費（4,041 千円）

担当 都市整備課

伊勢丹相模原店の閉店に伴い、当面の間、相模大野立体駐車場内を迂回路として活用するために必要な措置を行うもの

- (1) 照明設備設置 1,495 千円
- (2) 監視カメラ設置 1,516 千円
- (3) 誘導警備 648 千円
- (4) 清掃 382 千円

18 スポーツ・レクリエーションゾーン整備事業(524,656千円) 担当 公園課

相模総合補給廠共同使用区域におけるスポーツ・レクリエーションゾーン(10ha)の整備を行うもの

- (1) 芝生広場整備工事
- (2) 遊戯施設整備工事
- (3) 人工芝フィールド整備工事
- (4) 屋外トイレ建設工事
- (5) 軟式野球場実施設計委託等

19 津久井消防署整備事業(29,755千円) 担当 消防総務課

消防署の機能強化・維持を図るため、老朽化した津久井消防署の移転整備に向けた基本設計を行うもの

- (1) 移転先 緑区寸沢嵐 3455 番地ほか 7 筆
- (2) 敷地面積 3,269 m²

20 義務教育学校設立に係る経費(41,920千円) 担当 学務課
学校施設課
教育センター

青野原小・中学校及び青根小・中学校を再編し、令和2年度から青野原小・中学校において義務教育学校を開校するための環境整備等を行うもの

- (1) 学務課分 スクールバス購入等 8,850千円
青根小・中学校閉校記念事業負担金 5,400千円
机天板交換等委託、備品等購入費 2,272千円 等
- (2) 学校施設課分 学校施設修繕(職員室等改修、トイレ洋式化改修等) 18,278千円
- (3) 教育センター分 学校間ネットワークサーバ設定変更等システム改修委託 2,951千円
小・中学校学校情報教育機器移設等委託 2,706千円

21 海外帰国及び外国人児童生徒教育推進事業(972千円) 担当 学校教育課

学校生活において、外国人の保護者等への連絡や児童生徒への指導の支援ツールとして小型翻訳機を配置するもの

- 小型翻訳機購入費(12台) 972千円